

ゆきとどいた教育署名、今年も

要求実現に向けて、集めきろう！



「みんなが安心して過ごせる学校に」、これは「ゆきとどいた教育を求める全国署名」の今年のスローガンです。

今、学校現場は、長時間過密労働が解消されないまま常態化しています。また、代替未配置など「教育

職員不足」も深刻です。多様な子どもたちに対応するために、支援員の方々にもたくさん入っていただいています。それでも足りないのが現実。

そこで、全教では、毎年、「ゆきとどいた教育をすすめる会」

を作り、「ゆきとどいた教育を求める全国署名」(以下、教育署名)に取り組んでいます。すでに開始から34年。累計では、4億8千万筆を集めている一大署名です。このとりくみの中で、国レベルの小学校35人学級を実現させるなど、子どもたち一人一人にゆきとどいた教育のための様々な前進を実現させてきました。

24年度も、文科省に対して概算要求をもっと増やしてほしいと求める「えがお署名」に一学期に取り組みました。6月の教育通信(号外)でのご協力を呼び掛け、8月2日現在で、高知県では1190筆を集約することが出来ました。ご協力、ありがとうございました。そして、今度は24

年度教育署名がスタートしました。7月12日に全国教育署名スタート集会(写真・上)が東京で行われました。参加者約二百人。意思統一集会を行うとともに、国会議員への要請行動などを行いました。

そして、高知県でも8月3日に、署名の推進団体である「子どもと教育を守る高知県連絡会(略称・子連)」が主催して、高知県のスタート集会を実施。約30名が参加。現在の高知県の学校現場の問題点(教員不足の現状など)を学ぶとともに、今年度の教育署名の重点内容を確認しました。

その後、グリーンロードに出て、街頭署名を実施。約30分で46筆筆を集めました。



た。「みんなが安心して過ごせる学校に！」冒頭で掲げたこの願いを込めながら、これから、県内各地でも取り組んでいきます。12月県議会提出・来年2月国会提出の予定。

ぜひみなさん、ご協力ください。

今回の教育通信と同送する形で、教育署名の用紙を返信用封筒付きで入れています。ぜひ職場で署名にご協力下さい。よろしくお願いします。

4/18実施の全国学テの結果が7月下旬に発表。県教育長のコメントも▼相変わらず「く」に課題が見られる」と指摘して「(学習指導を)充実させていくことが必要である」との結論▼この一年間、いろいろ取り組んできたのに(いや、取り組まされたのに)その成果はないのか。代替も含めて教職員を十分に配置できず、それでも長時間過密労働に耐えて頑張ってきた現場を労う言葉もなし。もっと言うべきことは他にあるだろうという気になります▼なお「『第3期高知県教育大綱』や『第4期高知県教育振興基本計画』に基づく取組を着実に進める」との表現も「バワハラ防止」という言葉は書かれていない『大綱』や『計画』に基づき、事細かな数値目標推進と学テの順位向上のために、県教委と管理職などのバワハラ的な管理・指導体制はますます強化？▼全国学テ・県版学テは廃止を！(和)

教育通信

24年度 第5号
通巻1803号

発行所：
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



お城下

国学テの結果が7月下旬に発表。県教育長のコメントも▼相変わらず「く」に課題が見られる」と指摘して「(学習指導を)充実させていくことが必要である」との結論▼この一年間、いろいろ取り組んできたのに(いや、取り組まされたのに)その成果はないのか。代替も含めて教職員を十分に配置できず、それでも長時間過密労働に耐えて頑張ってきた現場を労う言葉もなし。もっと言うべきことは他にあるだろうという気になります▼なお「『第3期高知県教育大綱』や『第4期高知県教育振興基本計画』に基づく取組を着実に進める」との表現も「バワハラ防止」という言葉は書かれていない『大綱』や『計画』に基づき、事細かな数値目標推進と学テの順位向上のために、県教委と管理職などのバワハラ的な管理・指導体制はますます強化？▼全国学テ・県版学テは廃止を！(和)

夏、全国の実践から学びを

7/27教育講座



7/27(土) 第48回教育講座が、県民文化ホール多目的室を中心に開かれまして。全体で百名近くの方が参加しました。午前中は分科会、実行委員会に参加する民間教育サークルが中心になり7つの分科会(国語教育、

社会科教育、算数・数学教育、理科教育、美術教育、生活指導、障害児教育)が行われました。教材研究や授業づくりを学んだり、実践の交流をしたり、織り染めの体験をしたり、朝9時から3時間は2学期からの授業に大いに役立つ

ヒントを学ぶことが出来ました。また、歴史教育者協議会が中心になった社会科分科会は、自由民権記念館の展示物の学習を行いました。展示品の解説を受けながら、自由民権

150年の今年、改めて当時の人たちの「国民の声が届く国を作る」という熱意を感じていました。午後は、全体会。講師は、平井美津子さん(大阪の公立学校の教諭)。演題は「子どもの心によりそって、子どもと教師・成長の記録」でした。ご自身の経験을交えて、子どもたちと授業に真剣に

向き合ってきた姿勢と想いを語っていただきました。いわゆる「世話のかかる子」の多かった学年を指導する中で、沖縄の修学旅行を軸に全ての子どもたちが授業に向き合うようになつていく実践は、多くの感動を呼ぶ内容でした。その明るさと強い熱意には、改めて教師としての必要な資質を学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

の方向性や、県への要望などをまとめるなど、有意義な話し合いが行われました。午後は、全体講演。齊加尚代さん(大阪毎日放送プロデューサー、写真・左)が講師でした。前日の教育講座講師・平井美津子さん等も出演された映画『教育と愛国』を作られた監督でもあります。演題は「『教育と愛国』から見えてくる世界は、子どもたちに平和な未来を手渡したい」でした。

現代社会の問題点をあぶり出すドキュメンタリーを制作するテレビプロデューサーとしてのまっすぐな姿勢と、映画「教育と愛国」で浮き彫りにした教育の問題点を、見事に語っていたいただきました。ともすれば「付度」が疑われるようなマスコミの姿勢が問われている中で、こうして頑張ってくれているジャーナリストがいてくれることが、私たちにも大いに励みになります。これからも頑張ってください。なお、講演に先立ち行われた「ビキニの海のねがい」の紙芝居上演(写真・下)も、ビキニ被災70年の節目として良い企画だったと思います。

7/28高知県母親大会

翌日の7/28(日)には第69回高知県母親大会がソレを開場に開催されました。当日会場には約170名の方が参加していました。

午前中は、分科会。「音楽で心もからだのびのびと」「不登校、みんなどうしてる?」「障がい児・者の人権とくらし」「平和な郷土を守り

たい」「おかしくない?税金・税制」「防災にジェンダーの視点を」「不安がいっぱい」紹介

「防犯制度第改悪」「民話を語りつづ」の8つのテーマ別に分かれて、日頃の疑問などを語り合う中で、これからの運動



この紙芝居を下に作られた本『ビキニの海のねがい』は好評で、現在初版が完売。増刷中だそうです。県内の各学校と公立図書館には、1冊ずつ寄贈されています。

ます。ぜひ学校でもご利用ください。

本『ビキニの海のねがい』販売中

まだご購入でない方に朗報!現在、増刷中です。購入されたい方の予約を受け付けています。下記までご連絡ください。

紙芝居を本にする会 Tel088-821-0591(全教・高知市教組)



2025年度政府予算にむけた文部科学省概算要求に対する要請署名

えがお署名・推進ニュース

発行:全教/教組共闘連絡会/子ども全国センター

2024.7.25

**文部科学省へ10万2,906筆を提出!**

教育予算をふやして、みんなのえがおがや学校を!

7月24日、文科省前での提出行動へのご参加ありがとうございました!各地のとりくみ報告を北海道高、埼教組、愛高教、大教組、山口県高教組からいただきました。「えがお署名は、職場でとりくめば8割集まる」「今の状況を変えたくて今日参加した」「なりたくなかった仕事なのに…」ととにかく教育にお金をかけてほしい」「未配置は、子どもたちの教育の保障に大きく出る」「教職員をふやして」と学校現場からの熱い声、変えたいという想いが続きました。

今年の提出筆数は、10万2,906筆。10万筆を超えたのは、2013年度集約分以来。それほど、「このままでは学校がもたない」という学校現場からの悲鳴や、保護者・市民も含め「教育へのお金をもっと使ってほしい」という切実な声が、全国から集まったあたたかい未来への希望の光です!ご協力ありがとうございました!



これ以降、寄せられた署名があれば、教文局までお送りください。追加提出します。

各地でのとりくみ報告等
お待ちしております。

Mail:

kyobun_kyozai@educas.jp

7/24中央行動で賃金アップなどを要求!

7月24日(水)、中央行動がありました。高知県教組からは3名の参加。文部科学省に10万2,906筆のえがお署名が提出されました。この署名は、教職

員定数大幅増や給特法の抜本的改善など私たち教職員が切実に求める内容です。一学期、高知県下の学校や退職教員の団体でえがお署名に積極的にとりくんでい

ただき本当に有難うございました。7月26日には中教審「質の高い教師確保特別部会」(第14回)が開催を予定され、また8月上旬の人事院勧告が迫った時期

の署名提出となり、全国の組合員が学校現場の状況を文部科学省に伝える声にも力がこもっていました。暑の中でも北海道の

学校でクーラーが教室につかず、子どもたちの健康と命に大きな影響が出ている話を聞いた時には、国の責任として命を守る学校に全国どこでもしてもらいたいと強く思いました。これからの運動をとにも頑張りましょう。(細木久義)

教職員のための自動車保険は

**全教自動車保険**

教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん
見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

<私たちの賃金決定までの毎年の流れ>

- 4月 人事院(国)と人事委員会(県)が民間企業の給与実態調査を実施。
- 7月 全労連などで要求書行動(上記7/24中央行動等)
- 8月 人事院が国家公務員への給与勧告を発表
- 9月 県人事委員会への高知県教組の要求書提出と交渉
高知県教組として現場の要求を伝えます。
同時に、賃金改善の署名を全県で行います。
- 10月 県人事委員会が給与勧告を発表。
- 11月 県教育委員会への県教組の要求書・署名提出・交渉
- 12月 給与条例改定が県議会で審議され決定。
- 12月 改定差額などを支給開始

高知県内を流れる1・2級河川⑤

1	2	3	4	5	
6					
		7			
	8				
9			10		11
12			13		

6. 田舎に帰って○○○
7. 薬を飲むこと
8. 共通動詞
9. 憧れの対象となるもの
10. モノの中心にある堅い部分
11. 道筋

通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は9月30日(月)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただきます。【6月号の当選者】「まつだ川(松田川)」でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございます。上野早紀さん(池川小)

ムー一族の末裔さん(香我美中)

ぶくびごさん(東又小)

【みなさんの声より】

○ストレスチェックのハガキが配られた。最近ふさがちでしんどくて気持ちが上がらないことが続いていたので、今回は引かかるかなと思

クしていく。結果は、どうやら、ストレスの要因を抱えていないらしい(嘘つき!)。即病院行きの状態じゃなければストレスなしの診断なのかと、自分を無理矢理納得させている。○職場の近くには自然豊かで素敵な観光地がたくさんあるのに、全然行けていません。夏休みに早く帰れる日があれば、年休を取って行ってみようと思います!

○夏休みは、目の前! ラストスパートです。だけど、昔ほど心が躍らない。心躍る夏休みが取れたら、教員志願者が増えると思うけどなあ。○もうすぐ一学期が終わります。毎週末は、授業作りで休みの日も追い立てられているようで落ち着かなかったのですが、夏休みは研修や勉強会があるとはいえ、少し落ち着いた週末が送れるのではないかと期待しています。○一学期が終わりまして、緑のカーテンにするため、ゴーヤとキュウリを植えました。いつの間にかキュウリの実がついて、「大きくすると伸びそうにないなあ」。食欲と暑さのせめぎあい。○夏休み中も毎日職朝があり、校内研修の日々。まとめて休めるのは閉庁期間。しかし、閉庁という言い方も不思議であり、年休・夏期休を取る日も決められていたのか。もう少し自由にならないだろうか。○勤務時間外労働は、在校時間の他、持ち帰り仕事の量も問題になると思います。(子どもの個人情報関係の仕事(情報・成績など)を持ち帰れないので)土日に職場に行っている先生も多くなっていると思います。基本は、定時で終われる環境づくりですね。しかし、先生方は、夢の中も含めて、24時間学校のことを考えています。○夏休みに入ってから、これまでの練習の成果を発揮する場として目標にしていた校内水泳大会が終わりました。コロナの影響もあり、全員参加は叶いませんでしたが、どの学年もそれぞれの目当てに向かつて懸命にチャレンジする姿が本場に清々しく、一組終わる度に、会場は大きな拍手に包まれました。普段は目にする機会の無い他学年の児童の泳ぎに新たな一面を発見したり、下級生は上級生の泳ぎに刺激を受けたり、大満足の有意義なひとときとなりました。

いつもお届けしている月の真ん中頃の週の配送が、閉庁日の関係で下旬に遅れる学校があります。どうぞご了承ください。



メールはこちら

